

あなたにおすすめのコース・教材（スピーキング学習）

インプット

1 **booco**

スピーキングBasic コース（必修本3冊＋1冊）



2 オンラインセミナー

- ・モチベーションアップ
- ・クリエイティブスピーキング
- ・自己学習法

アウトプット

3

アルクオンライン英会話



24回

アセスメント

4



スピーキングテスト2回

コース目標

- ・ 日常会話(例：電話、レストラン、買い物など)において、まずは相手の発言に適切な One Phraseで返答できるようにすることでコミュニケーションへの第一歩を踏み出す。フレーズ単位の発話量を増やす。
- ・ 英語を話している！実感を持ち、英語学習に楽しさを見い出す。
- ・ SとVのある正確な英文をこれから作成できるように英文法力を鍛える。
- ・ 発話量を増やすのに必要な語彙力アップを目指す。

学習目安時間

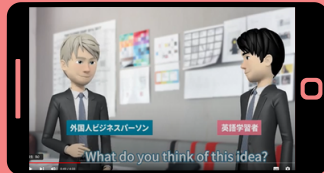
1日 14分

(総合学習時間 約42時間)

*TSST受験時間除く

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学ぶ順番・学習スケジュール例（6か月間）

コース・教材	インプット				アウトプット	アセスメント	
	1				2	3	4
	booco スピーキングBasicコース(必修本)				オンラインセミナー	アルク オンライン英会話	スピーキング テスト
					 ①モチベーションアップ ②クリエイティブスピーキング ③自己学習法		
進度	ユニット数		ユニット数	ユニット数	本数	レッスン数	—
学習法動画 5分でトクする動画シリーズ	 タップして視聴	 タップして視聴	—	—	—	—	—
進度目安 1か月目	1-8	1-10	—	—	最初の1か月で① ③を視聴	1-4回目	受験
進度目安 2か月目	9-16	11-21			5-8回目	学習しながら、困ったときにいつでも見直す	—
進度目安 3か月目	17-24	22-32			9-12回目		
進度目安 4か月目	—	—	1-10	1-21			
進度目安 5か月目			11-20	22-43	13-16回目		
進度目安 6か月目			21-30	44-65	17-20回目		
					21-24回目	受験	

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習スケジュール例（1週間）

5～6日間					1日間			
1か月目～ 3か月目	インプット	1		2ユニット	インプット	2		最初の1か月で3本すべてを見るのがおすすめ
				2～3ユニット	アウトプット	3		1回
4か月目～ 6か月目	インプット	1		2～3ユニット	アウトプット	3		1回
				5～6ユニット				

本スケジュールを参考に1週間の計画をご自身の都合に合わせて組み立ててください。
例）「1週間毎日勉強する」「1週間のうち1日は休み、ほかの6日間で勉強を進める」等

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習の進め方・学習のポイント

インプット

1 booco

アプリの各レッスンに沿って学習をすすめる（[booco使い方を見る](#)）

2 オンラインセミナー

最初の1ヵ月ですべて視聴することをおすすめ。疑問に感じた時にいつでも戻ってきて参考に。（[オンラインセミナーページを見る](#)）

アウトプット

3 アルクオンライン英会話

・[スッキリ！英文法]

① 〈文法理解〉

日本人講師のレッスンで、各文法単元の理解を深める。何でも聞いてみよう！

② 〈会話実践〉

学習事項を実際に使ってみる。積極的に学んだ英語を使ってみよう！

- ・アウトプットを積極的にしよう！
- ・新たな知識はノートにメモしてみよう！
- ・学んだことを"一つ"次のレッスンで使ってみよう！
- ・間違えてもよい！

「スッキリ！英文法」は好きなグループから始める

[入門編]

- ★be動詞グループ(1-3) ★一般動詞のグループ(4-5) ★代名詞のグループ①(6-7)
- ★代名詞のグループ②(8-9) ★過去形のグループ(10-11) ★現在完了形のグループ(12-15)
- ★未来形のグループ(16-18) ★疑問詞のグループ(19-22)
- ★助動詞のグループ(23-27) ★丁寧・勧誘・提案グループ(28-29)
- ★不定詞・動名詞グループ(30-31) ★形容詞・副詞グループ(32-35)
- ★比較グループ(36-37) ★場所・位置グループ(38-40) ★時のグループ(41-43)
- ★可算・不可算グループ(44-45) ★itのグループ(46-48)

[初中級編]

- ★頻出動詞のグループ(49-54) ★知覚動詞/④⑤文型を作る動詞(55-56)
- ★受動態のグループ(57-58) ★間接話法/関係疑問文/付加疑問文・聞き返しのグループ(59-62)
- ★接続語のグループ(63-70) ★仮定法/助動詞＋完了形のグループ(71-73)
- ★分詞のグループ(74-76) ★関係詞のグループ(77-79)
- ★前置詞を使った表現のグループ(80-81) ★句動詞のグループ(82-84)

アセスメント

4 TSSTスピーキングテスト

9段階レベルとスコアで判定し、スピーキング能力の詳細分析が可能です。あなたに効果的なトレーニング方法の詳細も提示されますので、受験をおすすめします。詳しくは受験期間前日に送信される「英語スピーキングテストTSST受験のご案内」をご覧ください。

プラスαの勉強法・追加のおすすめ学習教材

プラスαの勉強法

✓ booco[Mr. Evineの中学英文法+αで話せるドリル]

英語を話すための土台作りを行う

- ①解答しながら、好きなように声に出してみる。
正確な発音は「おいておく」
- ②解答しながら、主語と動詞はどれかな？と考えてみる。
正解かは「気にしない」「考えること」の方が大切。
- ③「正解だった!」選択肢に印をつけていく。
[もしくは間違えた問題番号をメモする。]
- ④2周目は「印のない」問題だけに取りくむ。
[間違えた問題に取り組む。]正解したら印をつける。
- ⑤解説を読み、その後テストへと進む。
- ⑥3周目も2周目と同様に取り組む。
- ⑦5周ぐらいしたら「全ての問題」に取り組む。
上記のサイクルを同様に繰り返す。

✓ booco[改訂版 キクタン【Entry】2000]

発話量を増やすための基礎英単語習得を目指す

- ①”スピード感”を持って取り組む。忘れても気にしない。”回転率を高める”ことを意識し、1周目はなるべく早めに終わらせる。
- ② 単語を声に出して発音する。掲載されている各意味の”共通イメージ”を意識する。イメージとは、単語から”連想される画像”のこと。イメージを強く意識できたら、次の英単語に移る。
- ③イメージできた単語に”印”をつけていく。
- ④2周目以降は印がついていない単語を中心に②を意識して行う。
- ⑤ 7~8周かしたら”全ての英単語”を再度確認していく。

追加のおすすめ学習教材

メインコース・教材中心に取り組み、学習時間に余裕がある方は「追加学習コース」に取り組むことをおすすめします。

NetAcademy Next



好きな単元のテストに取り組むだけでもOK

- 総合英語トレーニング初級コース
- 基礎からの英文法トレーニングコース

トーキングマラソン



話すことが好きな学習者は取り組んでみることをおすすめ！

(使い方を見る)

学習時間確保のコツ

「学習時間を確保できない」は多くの英語学習者が持つ悩みです。勉強時間の確保にはコツがあります。時間を削って新たに学習時間を生み出すのではなく、見つけることが重要です。

毎日のルーティンとセットにする

- ✓ 生活パターンを把握して学習時間を見つける
- ✓ 無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む

無理に思える学習計画（例えば、「自宅で夕食後に1時間」「朝早起きして1時間」「帰宅後に趣味の時間を削って1時間」等）では時間が確保できず、学習が続きません。週末には可能であればじっくり取り組む時間を取りたいものですが、重要なのは「無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む」ことです。ルーティンとセットにして、学習を継続しましょう。

ルーティン

電車に乗る（行き）
電車に乗る（帰り）
会社の昼休み
入浴前・後
寝る前にスマホを見る
お弁当を作る（平日）

ルーティンとセットにする

電車での行き帰りの15分
昼食後の10分
入浴前後の15分
寝る前の5分
お弁当作りの時（リスニング学習）等